

広報

なかがわ

8月23日(土) 第31回中川どんちゃん祭り

9

今月の主な内容

- 第31回中川どんちゃん祭り 開催! P 2・3
- 北海道中川町 中学生体験学習交流報告 P 4~7
- 新たな学校づくりプロジェクト その5 P 8
- 未来につなぐ 持続可能な村のかたち P 9

2025年(令和7年)

No.568

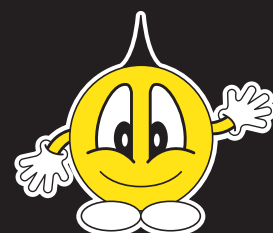


the most beautiful
villages in japan

中川村
長野県

第
31
回

中川 どんちゃん祭り



中川どんちゃん祭り
キャラクター
「Donちゃん」

第 31 回中川どんちゃん祭りが8月 23 日（土）に牧ヶ原文化公園で開催されました。

当日は、天候にも恵まれ、大人から子どもまで多くの来場者で賑わい、熱い1日を楽しみました。

また、翌日 24 日（日）の会場片付けには、早朝にも関わらず、多くの方にご参加いただきました。

「村民総参加の村祭り」として始まった中川どんちゃん祭りも今年で 31 回目を迎え、実施委員をはじめ、多くのみなさんのご協力により、今年も盛大に開催することができました。

実施委員のみなさん、各地区のみなさん、ご寄附をいただいたみなさん、ありがとうございました。





- ① どんちゃん祭りお笑いライブ
宇宙海賊「ゴー☆ジャス」
- ② どんちゃん祭りアイドルライブ
「七限目のフルール」
- ③ ④ 子ども向けコーナー
- ⑤ ⑥ 約1,500人が
参加したビンゴ大会
- ⑦ キッズダンスによる
元気いっぱいステージ
- ⑧ サブニュマによる
アフリカダンスとドラム
- ⑨ 躍動感あふれる陣馬太鼓
- ⑩ 村消防団ラッパ班による吹奏
- ⑪ 大迫力の煙火打上
- ⑫ にぎわうテント市

～北海道 中川町へ行ってきました～

中学生体験学習交流報告



北海道にいつてみて

3年1組 北島 奈葉
きたじま なな

中川村と北海道中川町の姉妹町村提携をきっかけに始まった中学生体験学習交流のため、中川中学校の体験学習交流団37人が、7月29日(火)から8月1日(金)までの4日間、北海道中川町を訪問しました。滞在中は、地震の影響を受けながらも、全員無事に中川村へ帰ってきました。

私たちは、3泊4日で北海道へ行きました。初めは名古屋にある中部国際空港に3時間かけて出発しました。私は初めての飛行機で不安と緊張で心が痛かったです。いざ飛行機に乗るとき、みんなの前ではすました顔をしていましたが、とても怖かったです。離陸や着陸のときに体に伝わる感覚がいやで二度と乗るまいと心に誓いました。でも空の上からの眺め、上空の様子とはとても心地よいものでした。

新千歳空港に着いて、中川町へ向かいました。お昼ご飯はお弁当を食べました。食べ終わってからは高速で中川町まで行きました。

中川町に着くとそこでバスを降りました。化石がたくさんあってすごいなと思いました。その後、すぐ宿舎へ向かいまし

た。私たちの部屋は和室で広くて居心地がとても良かったです。2日目は、中川町立中川中学校の人たちと交流しました。私たちは中川村の紹介をしました。みんな中川村に興味を湧くというなと思いました。

その後、アイスブレイクをしました。身振り手振りで伝えることができて良かったです。

次は、人間知恵の輪をしました。左手に紐をもち、右手をクロスさせ、隣以外の紐を持ち、それ自分たちでほぐしていく遊びで、私たちは早くクリアしました。

次はババ抜き最強決定戦をしました。

これもチーム戦で出だしはよくなかったですが、後半になると運が味方につき決



勝リーグまで上り詰め1勝し、次の試合へ進みました。そこで相手チームと同点になり、最後にじゃんけんで決まりました。3本勝負で2対1で見事最強王になりました。

その後、お別れをしてバスに乗るとロシアで地震があったようので津波警報が出ていました。なので、宗谷岬でバスから降りることができず、水族館にも行くことができませんでした。そんなハプニングがあってもちゃんとしたプランを立ててくれて充実した1日になりました。

3日目は宿舎を出て特急列車



大倉山スキージャンプ台 (札幌市)

で旭川へ行きました。その中で
の思い出はファーム富田です。
一面にラベンダーや花が咲いて
いて綺麗でした。ラベンダーソ
フトもいい味でした。
その後、札幌へ出発し、ホテ
ルに着いて、近くの美味しいジ
ンギスカンを食べました。自分
たちで焼いたり頼んだり楽し
かったです。
4日目は、スキージャンプの
所へ行きました。エスカレー
ターで登るとそこは30度の斜面
で後ろを振り返りませんでし
た。そこを抜けると、大きな
ジャンプ台が見え、頂上までリ
フトで行きました。リフトの角
度は35度で更に高くて怖かつ
た。しかし、頂上からは札幌
などの街を眺めることができま
した。見たときは独り占めして
いる気分でした。その後の下り
は怖かったです。空港でお土産
を買い、無事中川村に到着する
ことができました。

この4日間を通して私に協調
性、コミュニケーション能力な
どが身に付きま
した。北海道と
いう広い土地に
行き、はぐれた
り問題行動を起
こさないなど協
調性が磨かれ、
コミュニケーション能力では空
港の人に聞く、
クラスや中川町
のみんなと話し
たりすることが
できました。こ
の機会を頂いた
ことに感謝し、
今後の生活に活
かせるようにし
たいです。

北海道の旅

3年2組 大島 佳夏
おおしま かな

私の旅は、恐怖から始まりま
した。それは、飛行機の荷物検
査です。保育園の頃からずっと
一緒だった「はさみ」を筆箱の
中に入れてきてしまい、没収さ
れかけました。でも空港にいた
お姉さんにそのことを言うと、
「預けるカバンの方なら持ち込
んでいいですよ。」と言われ、
はさみごとですが、嬉しかつ
たです。今度からは入れてこな
いように気をつけようと思いま
した。



中川町中学生との交流 (人間知恵の輪)

もう一つ、私がこの旅を通し
て、気をつけようと思ったこと
があります。それは、ホテルで
す。自分はずつとうるさくない
と思って、友達とペットボトル
フリップをやっていたんですが結
構うるさかったらしく、苦情が
入ってしまった。なので、
消灯時間になったら、ほかの宿
泊客もいることを考えて、自分
がうるさくないと思っているこ
とでも、音を立てる遊びはやめ
ようと思いました。



中川町エコミュージアムセンター

エコミュージアムセンターで、アンモナイトやそのほか、古生代にいた動植物の化石を見られたことです。アンモナイトが好きたので、めちゃくちゃ巨大なアンモナイトの化石を生で見られたことに感動しました。中川町で発見されたものもたくさんあって、驚きました。

ほかに、たくさん体験をさせてもらって、すごく思い出に残るいい旅になりました。この体験で学んだことを、大人になったとき活かせるようにしたいなと思いました。

北海道

3年2組

坂口 さくち

杏 あん

私にとってこの4日間はカメラを手放せない、感動しっぱなしの4日間になりました。

私たちは7月29日から8月1日までの4日間で北海道に行ってきました。ほかの学校ではなかなかない経験ができる理由は、姉妹校である中川町立中川中学校との交流のおかげです。実際に行ってみると、とても貴重な経験ができたと感じます。

たくさんの中で、私が特に思い出に残っていることは、中川町の方たちとの交流です。向かう前までは一番心配していて、うまく話ができるのかソワソワしていた中川中学校との交流でしたが、先生や生徒のみんながとても面白く、話しやすい雰囲気を



中川町中学生との交流 (ババ抜き)



ジンギスカンを味わう

自然と作ってくれたので交流前の心配は、すぐどこかに飛んでいきました。私が一番興味のあった方言についても詳しく話をしてくれました。興味があすぎて事前に調べるほどでしたが、「〇〇のことを〇〇って言うんでしょ！」と調べた方言について聞くと「えっ長野では言わないの！」と盛り上がりました。北海道では「ゴミを捨てる」ことを「ゴミを投げる」と言う、と教えてもらったので長野では「ごちそうさまでした」を「いただきます」と言うことを伝えました。新しいことをお互い

知ることができ、盛り上げることができた会話がポカポカしました。ちなみに事前に調べた方言は、北海道ではおじいちゃんおばあちゃんしか使っていないそうです。

中川町交流感想文

3年2組 竹入 空柱
たけいり そらと

みなさんは、遠く離れた町の人たちと交流したことがありますか？私は今回、北海道の中川町と交流する機会があり、たくさんさんの新しい発見をしました。

私には、その中川町との交流で特に心に残ったことが三つあります。



北西の丘展望公園 (美瑛町)

一つ目は、地元の方たちの温かさです。1日目の午後には私たちが訪れた博物館で感じられたことです。まだ北海道に来たばかりだった私たちは、初めて行く場所です。初めて会う人たちに会ったので少し緊張していましたが、でも、館内の方々が明るく歓迎してくれたこと

で、最初は少し緊張していた私も、すぐにリラックスして楽しむことができました。

二つ目は、



宗谷岬平和公園 あけぼの像 (稚内市)

中川町の中学生の親しみやすさです。私たちは2日目に、バスで中川町へ移動し、今回の旅で一番メインの中川町の中学校の生徒と交流しました。交流の内容は、私たちが中川村についての紹介をしたあと、事前に割り振られたグループに分かれ、「人間知恵の輪」や「ババ抜き」

をして、お互いの仲を深めました。そしてここで、その親しみやすさを感じました。最初、私はとても緊張していましたが、人間知恵の輪で相手が明るく接してくれたおかげで、だんだん会話ができるようになっていって、ババ抜きの時も楽しくいい思い出を作ることができました。そして、何気ない会話の中で「また来てね」と言われたことが、何よりうれしかったことです。

三つ目は、中川村との地形の違いです。

中川村は、伊那谷という山脈に挟まれている谷で、どこへ行っても周りにはほとんど山で、北海道は長野県と違って平野がたくさんあり、山は奥にうっすらあるくらいで、ほとんど見えない状態だったため、とても珍しい光景であり、強い感動と驚きを感じました。また、バスでの移動中に感じたのは、道がとにかく真っすぐであったり、畑がたくさん並んでいるという、そういう初めてみる光景への驚きでした。また、バスガイドさんが紹介してくれた有名な木がたくさんあり、面白かったです。ほかにも、ファーム富田などの北海道の有名な場所へ行ったりは、その平野を利用した数々の美しい景色に惹かれました。



3日目 夕食会場 (札幌市・麒麟ビール園)

このように、中川町で感じた広い空とまっすぐな道の景色と人々の優しさは、今も私の心に強く残っています。そして、中川町との交流で多くの学びと出会いがありました。この経験をこれからの生活に活かしていきたいです。

中川村 新たな学校づくりプロジェクト その5

新たな学校の
コンセプト(構想)

学校教育が目指す子どもの姿
「自ら考え、判断し、行動して、人生を開拓する力を育む」

令和13年度の開校を予定をしている小中学校を統合した義務教育学校について、校舎建築の具体的な検討を行う作業部会を開催しました。

今後の予定

10月4日

12月

シンポジウム②
パブリックコメント

9月18日(木)に開催する第4回新たな学校づくり委員会では、作業部会で検討した内容を基に協議を行う予定です。



新たな学校の基本計画策定に向け、全4回の作業部会を開催し、新たな学校の校舎について検討しました。検討には、長野大学の早坂先生、早稲田大学の田中先生と研究室の学生のみなさん、校長先生といった関係者が参加し、田中先生のスケッチや田中研究室の学生のみなさんが作成した模型を基に、校舎の配置や必要な教室とその大きさなどを検討しました。

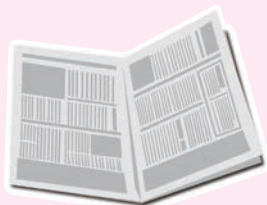
教育委員会総務学校係
TEL 88-1005

新しい学校新聞を発行しました！

村内有志のグループ「学校をともに作る会」の企画・編集で「新しい学校新聞」を発行しました。掲載場所はチャオ、小・中学校、保育園、文化センターなどです。村公式ホームページにも掲載しています。

関係者へのインタビューやこれまでの経過など、新たな学校づくりについてわかりやすくまとめてありますのでぜひご覧ください。今後も定期的な発行を予定しています。

また、チャオに掲載されている新聞の「がくぶち」は、「学校をともに作る会」の主催するワークショップで、子どもたちに協力してもらい作成したものになります。チャオにお立ち寄り際には新聞とあわせて子どもたちの力作もご覧ください。



新しい学校新聞
記事ID: 12146



新たな学校づくりシンポジウム ～新たな学校づくりは今どこまできている？～

日時：10月4日(土)午後

会場：中川文化センター

今年度2回目となる新たな学校づくりシンポジウムを開催します。「新たな学校づくりは今どこまできている？」をテーマに、現在の進捗状況や作業部会での検討内容の説明と意見交換を行います。詳しくは、9月中旬に新聞折込予定のチラシをご覧ください。



5月のシンポジウムの様子



未来につなぐ

持続可能な村のかたち

村では、人口減少社会においても持続可能な村づくりを進めるため、「コンパクト・プラス・ネットワーク」の形成に取り組み、中川村立地適正化計画を策定します。また、土地利用や村づくりの指針となる中川村都市計画マスタープランの改定を行います。将来にわたって暮らしやすい村とするためには、住宅やバス停から歩いて移動できる範囲に医療・福祉・商業施設など生活に必要な機能がまとまって立地し、公共交通機関によって容易にアクセスできる「コンパクト・プラス・ネットワーク」の村づくりが必要です。

長期的な視点で村づくりの形や方向性を示し、暮らしやすい中川村を作っていきます。

ワークショップ

参加者募集

これからの中川村をどんな村にしたいのか、みなさんの思いやアイデアを伺うため、ワークショップをテーマごとに開催します。

「地区の暮らしやすさ」や「移住者」「若者」から見た村づくりなど、テーマごとに自由に意見を出し合い、未来の中川村の姿と一緒に描いていきましょう。

▼日時

- ① 10月16日（木）
午後7時～8時30分
 - ② 10月21日（火）
午後7時～8時30分
 - ③ 11月6日（木）
午後7時～8時30分
 - ④ 11月16日（日）
午前10時～11時30分
- ▼テーマ
- ① 「これからの暮らしやすい地区の姿を考える」
 - ② 「移住者と考える、これからの中川村」
 - ③ 「若い世代と考える、これからの中川村」
 - ④ 「これからの暮らしやすい中川村の姿を考える」

▼対象者

- ① 地区の村づくりに興味がある方
- ② 村内に移住された方
- ③ 40歳以下の方
- ④ 村づくりに興味がある方

※各回の対象者は目安です。住民または村出身の方であれば、対象外の方でもご参加いただけます。

▼会場

中川文化センター小ホール
※すべて会場は同じです。

▼参加申込み

申込みフォームまたは応募用紙を提出してください。応募用紙は地域政策課窓口に設置しているほか、村公式ホームページからもダウンロードできます。

▼提出先

地域政策課土地政策係
詳しくは、村公式ホームページをご覧ください。

ワークショップ
参加者を
募集します
記事ID:12126



中川村立地適正化計画

策定委員会の委員を募集します

村では、人口減少社会においても持続可能な村づくりを進めるため、中川村立地適正化計画の策定および中川村都市計画マスタープランの改定を行います。

両計画の策定および改定のため、委員会を設置し、住民のみなさんからも委員を募集します。

▼応募要件

村内に住所を有する18歳以上の方

▼任期

委嘱の日から令和9年3月31日まで

▼募集人数

3名

※応募多数の場合は選考により決定します。

▼募集期限

令和7年10月24日（金）

▼委員報酬

会議1回あたり3,300円
詳しくは、村公式ホームページをご覧ください。

中川村
立地適正化
計画策定委員会
公募委員を
募集します
記事ID:12110



地域政策課土地政策係
TEL 88-3017

水が生き 暮らしも活きる 下水道

―村営下水道の話―

昭和36年、日本全体で6%であった下水道接続率の早期向上を図るため、下水道関連団体により、9月10日が「下水道の日」として制定されました。
下水道は、衛生的で快適な暮らしのため、また、自然環境を保護するためにも欠かせない設備です。今一度、下水道の適切な使用方法について確認しましょう。



村の下水道接続状況

村内の生活排水処理は、公共下水道事業、農業集落排水事業、合併浄化槽の3つに分類されます。このうち、公共下水道事業と農業集落排水事業は、6つの処理区に分けて生活排水を集合処理しています。

公共下水道処理区または農業集落排水処理区にお住まいで未接続のご家庭は、早期につきぎ込みをお願いします。

水に溶けないものは 流さない

各家庭から排出された汚水は、自然流下とマンホールポンプによる圧送により、各処理場へ流れていきます。数十軒の家庭の汚水を集め、下水道専用のポンプによって送り出しています。

近年、水に溶けないお掃除シートのほか、タオルや下着など本来下水道へ流してはいけないものが流れてきたことによるポンプ故障が多発しており、その都度専門業者が駆けつけて、分解修理を行っています。
修理には、高額な修繕費用が発生しますので、水に溶けないものは絶対に流さないよう、みなさんご協力をお願いします。



ポンプに詰まっていたごみ

下水道等水洗化率（令和7年3月31日現在）

事業名	処理区	水洗化率（%）
公共下水道	大草処理区	95.3
	片桐処理区	91.6
農業集落排水	片桐北部地区	94.8
	葛島地区	93.2
	上前沢地区	86.9
	三共地区	89.0
合併処理浄化槽		79.3

「下水道の日」マスコットキャラクター スイスイ



ライフジャケットを 寄贈していただきました

香川県の森重裕二氏が代表を務める「子どもたちにライフジャケットを！」から県教育委員会へ子ども用のライフジャケットの寄贈があり、村へ30着の分配がありました。



▼「子どもたちにライフジャケットを！」とは

水辺の子どもたちの命を守るために、いつでもライフジャケットを準備できる環境を整えることを目的に活動する団体です。

2007年に近くの小学校に通う児童が川に溺れて亡くなった事故をきっかけにライフジャケットの普及活動を始め、日本各地にライフジャケットの重要性を広める活動を行っています。

子どもたちにライフジャケットを！HP



ライフジャケットを 貸出します

寄贈いただいたライフジャケットは、村内の保育園、小・中学校、子ども会などを中心に貸出しを行います。

貸出しを希望される方は、教育委員会総務学校係へお問い合わせください。

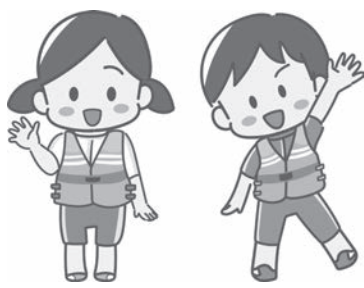
▼サイズと数量

・ 85 cm	・ 105 cm	・ 105 cm
・ 105 cm	・ 125 cm	・ 125 cm
・ 125 cm	・ 155 cm	・ 155 cm
		10着

ライフジャケットを寄贈していただきました記事ID:12046



レンタルステーション開設について記事ID:12056



教育委員会総務学校係
Tel 88-11005



図書館だより

●2025年9月／第161号● 中川村片桐4757 TEL 88-1005

2025年第79回 読書週間

10月28日(火)～11月9日(日)

テーマ「こころとあたまの、深呼吸」

えほんのじかん 読書週間スペシャル

11月5日(水) 16:30～ 児童コーナー

いつものおはなし会が、グレードアップ！
ミニプレゼントもあるよ！

復活！しずかな夜のおはなし会

10月31日(金) 19:00～ 児童コーナー

夜間開館の時間に、おとなも子どもも楽しめる
参加型のおはなし会をします。

朗読・読み聞かせ・おはなし・弾き語り・落語・
腹話術とか人形芝居とか、ぜひ私もやってみたい
という方、図書館までお申し込みください。

締め切り・9月末

読書週間・展示企画

「よんでもらって
うれしいさん♡」



今まであまり読んでもらえ
なかった私を手にとって読
んでみてください♡
予期せぬすてきな出会いに
なるかも…！？



※貸出冊数が増えるくじ付きの展示です。

「読書週間の歴史」

終戦まもない1947年(昭和22年)、まだ戦火の傷痕が至るところに残っているなかで「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という決意のもと、11月17日から(中略)第1回「読書週間」が開催されました。そのときの反響はすばらしく、翌年の第2回からは期間も10月27日～11月9日(文化の日を中心にした2週間)と定められ、この運動は全国に広がっていききました。そして「読書週間」は、日本の国民的行事として定着し、日本は世界有数の「本を読む国民の国」になりました。

いま、電子メディアの発達によって、世界の情報伝達の流れは、大きく変容しようとしています。しかし、その使い手が人間であるかぎり、その本体の人間性を育て、かたちづくるのに、「本」が重要な役割を果たすことはかわりありません。暮らしのスタイルに、人生設計のなかに、新しい感覚での「本とのつきあい方」をとりいれていきませんか。

「公益社団法人
読書推進協議会」HPより



新着おすすめ本



伊与原新

すいう 翠雨の人

伊与原 新 著 新潮社

少女時代、素朴な疑問を抱いたことから理系の道を選んだ猿橋勝子。戦時下で科学と戦争の関係を問いつけた勝子は、戦後、ビキニ水爆実験による放射能汚染の実態究明に打ち込んでいく。



宇佐美まこと

13月のカレンダー

宇佐美 まこと 著 集英社

亡き祖父母の空き家相続を持ちかけられ、松山を訪れた侑平。祖父の書斎には13月まである不思議なカレンダーと、脳腫瘍を患った祖母の病状を綴ったノートが。侑平は祖母が広島出身だと知り…。



伊吹有喜

鎌倉茶藝館

伊吹 有喜 著 光文社

生きる気力をなくし、ふと訪れた鎌倉で暮らし始めた美紀は、古い洋館の台湾茶カフェ「鎌倉茶藝館」で働き始める。そこには、新たな出会いやときめきがあった。そして…。



あなたが
僕の父

あなたが僕の父

小野寺 史宜 著 双葉社

富生が故郷の館山を離れて20年以上が経った。久しぶりに実家を訪ねた富生は、父の「老い」を目の当たりにする。不安に駆られ父との同居を決めるが、富生には付き合って8年になる恋人が東京にいて…。



使い切れない
農地
活用読本

使い切れない農地

もっと活用読本 続

～小さくはしめる、楽しく稼ぐ～

農山漁村文化協会

遊休農地で小さい農業をはじめ、育てる仕掛け、使いきれない農地におすすめの品目…。実家や地域の「使い切れない農地」の活かし方を事例とともに紹介。最新農地の法律相談も収録。



バス事故 殉難の碑

中川村の名を刻む・珍石 60
じゅんなん

リニア関連工事で多くの工事車両が行き交う県道松川インター大鹿線沿い、柳沢地区小渋端の小渋川に面したところに

「殉難之碑」が建っている。

裏面には「昭和二十二年四月四日 この地においてバス転落事故により殉難す」とあり、13

歳から65歳の7名の名前が彫られている。7名が亡くなった大事故だ。詳細がないかと村誌等を調べたが、記載がない。後日、

信濃毎日新聞のデータペー

スを検索したところ、次の

ような記事をみつけた。

◇昭和22年4月5日付記事

「乗客三十名が死傷 上伊

那南向村で満員のバス断崖

から墜落 四日午後三時

頃、南向村小渋林道二軒家

にて断崖からバスが転落

乗客のほとんどが死傷」

◇4月6日付記事「四日午後二

時頃大島駅発小渋林道廻り大鹿

行きの信南バスが南向村柳沢俗

称二件家地籍の坂でトラック三

台に行きあつたので、停車して

待避を交渉しているうちに車が

あつさりをはじめたため、運

転手があわててとびのつたが、

間に合わず、三十五米の断崖を

もんどりうって小渋河原に転

落、乗客はこつぱみじんとな

り、乗客六名が即死、二十一名

が重軽傷を負った。(中略)当

日は飯田市十周年祭の乗客が殺

到して、定員一六名の車に三十

余名が後部の※代燃炉上にまで

ずなりになり、二間幅の坂道をのぼって行く途中の出来事

で、停車中降りていた乗客と助

手運転手二名が辛い難をまぬが

れた。原因は乗客が停車中のブ

レーキにふれたものらしい。」

※代燃炉 当時のバスは木炭

を燃やして発生するガスを使っ

て運行する「木炭バス」。代燃

炉はそのガス発生装置で、バス

の後部または側面に張り出した

焼却炉に似た装置。

※記事は氏名等一部

割愛・漢字を修正して

います。

大きな事故だが、ほ

かの記録は見つからな

かった。戦後の混乱期



飯田の大火もあり、この新聞記事以外の記録が残らなかったのではないかと思われる。この慰霊碑は昭和45年に遺族の方々によって建立された。今もなお、きちんと管理され、大切に祀られています。改めてご冥福をお祈りいたします。

地域おこし協力隊活動記 vol.133 …それぞれの活動から…



宇津木 佑夏

(隊員歴 3 年目)

主な業務

林業振興と里山を生かした地域振興など



山田 正利

(隊員歴 1 年目)

主な業務

再生可能エネルギーによる創電事業



松尾 悠人

(隊員歴 1 年目)

主な業務

農業観光の推進



ヒノキ材を板と柱に
試し挽きして、
ウッドストックにて
乾燥させています。

宇津木 佑夏

今年3月、七久保の三林村有林(飯島町にある中川村の村有林)にて間伐を行ったところ、思いのほか良いヒノキ材が得られました。これを村内で活用できないかと、さまざまな検討を重ねた結果、旧大草駐在所のリノベーションに使える可能性がありそうです。協力隊の村田さんの設計で生まれ変わる駐在所を私の切出した木材が支えるのかもしれないと思うと嬉しくなります。

木材利用に関しては分からないことばかりですが、村有林から丸太を運ぶ会社、地域の製材所や大工さんなど、多くの方のお力添えのもとで、少しずつ計画が進みつつあります。

今後とも頑張りますので、よろしくお願いします。



公民館
マイクロ発電所
牧ヶ原橋付近に設置したイルミネーション

山田 正利

先月のどんちゃん祭りは、天候にも恵まれ、盛大に行われました。私はテント市の横で村のカーボンニュートラルに対する取り組みを紹介していました。間近に見る花火の迫力には驚きました。

お祭りの一週間前には、公民館の郷土を学ぶ会「発電の仕組みを学ぼう！」に参加し、イルミネーションの設置をお手伝いしました。牧ヶ原橋近くに突然現れて突然消えた、暗闇を照らすイルミネーションには、隣の太陽光パネルで発電した電気が使われていました。

広報がお手元に届く頃には、「大人の自由研究」の参加者募集が始まっている予定です。身近な再生可能エネルギーとして、小さなうち発電所と一緒に作ってみませんか？



西原ぶどう園
NAKAGAWA
中川中学校から寄贈いただいた看板を
西原ぶどう園用に改修しました！

松尾 悠人

今回は、広報7月号に書いた「茅葺き屋根は維持が大変だ」という話の続きです。

茅葺きの維持管理は、金銭的にも肉体的にも個人でやっていた範囲を超えています。そこで茅葺きの職人集団が大事になります。今現在、現役の人も減っています。今現在、現役の50代の職人がいなくなると次の世代は数える程度しかいないそうです。日本の原風景が技術的な側面からも失われているのを感じます。

今回は、茅葺き屋根を例に取りましたが、このように一見すぐに観光資源になりそうな物でもさまざまな問題を抱えています。しかし、その土地特有の問題は、その土地にしかない体験の裏返しでもあるので、一つひとつみなさんと一緒に解決して、中川らしいやり方で観光を盛り上げたいと考える今日この頃です。

おしらせ

令和8年度4月1日採用
予定の職員を募集します

総務課総務係
TEL 88-3016

採用予定職種および人数

・給食調理員

1名

・保育士

若干名

・保健師

若干名

▼試験日時

・1次試験 10月25日(土)

午前9時～

・2次試験 11月15日(土)

午前9時～

▼会場

・1次試験 役場委員会室

・2次試験 基幹集落センター

▼受付期限

令和7年10月9日(木)

▼提出先

総務課総務係

(電子申請・郵送可)

受験資格など詳しくは、総務課総務係へお問い合わせいただくか、村公式ホームページをご覧ください。

中川村一般職員
募集のご案内
記事ID:10137



令和7年国勢調査に
ご協力お願いします

地域政策課むらづくり係

TEL 88-3017

国勢調査は、統計法に基づき、日本に住んでいるすべての人・世帯(外国人を含む)に回答の義務がある大切な調査です。

9月中旬から調査員がみなさんのご自宅にお伺いし、調査に必要な書類をお配りしています。

▼インターネットでの回答が

かんたん・便利です

インターネット回答は、9月20日(土)から10月8日(水)

まで可能です。インターネット

による回答のご協力をお願いします。

▼お問い合わせ先

調査についてのお問い合わせは次の機関へご連絡ください。

・国勢調査コンタクトセンター

TEL 057-02-5901

【IP電話の場合】

TEL 03-6628-2258

・受付時間

午前9時～午後9時

(土、日曜日・祝日も利用可)

10月1日から7日は

「公正証書」です

住民税務課住民係

TEL 88-3018

公正証書は、日常生活における法的紛争を未然に防止し、法律上の権利や義務を明確に安定させることを目的として、証書の作成などにより、一定の事項を公証人に証明させる制度です。次のような約束事には公正証書の作成をお勧めします。

・遺言 ・ お金の貸借

・不動産の売買や貸借

・離婚に伴う養育費や慰謝料などの支払

・任意後見契約
公正証書はみなさんの権利を正しく確実に守ってくれます。

お近くの公正証役場は、次のとおりです。

・伊那公正証役場

TEL 73-8622

(伊那市山寺298-1)

福祉まちづくりセンター3階)

・飯田公正証役場

TEL 0265-23-6502

(飯田市常盤町30)

飯伊森林組合ビル2階)

飯伊森林組合ビル2階)

第32回 協力隊週間 10月18日(土)～10月26日(日)
みなこいワールドフェスタ

全国に2か所あるJICA青年海外協力隊訓練所の一つ「駒ヶ根青年海外協力隊訓練所」が伊南の地に開設されて40年以上が経ちます。

今年も、みなこい地域恒例のイベント「みなこいワールドフェスタ」が開催され、「きく！あじわう！まとう！異文化」をテーマに、未来を担う若者、子どもたちが、協力隊に興味を持ってもらえるようさまざまな企画を予定します。

村では、ショッピングセンターチャオを会場に「協力隊60周年写真展」を開催します。

▼日時

10月17日(金)～24日(金)

▼会場

ショッピングセンターチャオ

▼内容

1965年に初めてJICA海外協力隊が派遣されて今年で60周年。60年を振り返る写真展示やドキュメンタリー動画の放映を予定しています。

最終日の10月26日(日)には、駒ヶ根駅前銀座商店街を会場にファッションショーや

世界の食べ物・飲み物など多文化を体験できる「こまがね国際広場」も開催されます。みなこい地域にしながら世界の文化に触れることができます。ぜひお出かけください。

詳しくは、次の二次元コードからご確認ください。

みなこい
ワールドフェスタ
HP



昨年の様子

▼お問い合わせ

みなこいワールドフェスタ

実行委員会事務局

(駒ヶ根市役所企画振興課内)

TEL 83-2111(内線248)

戸籍に記載される予定の 振り仮名が通知されます

住民税務課住民係
TEL 88-3018

村に本籍がある方へ9月3日

付けで戸籍に記載される予定の
振り仮名の通知を郵送しています。
通知された振り仮名が誤って
いる場合は、届出が必要です。
※正しい場合は、届出を行う必
要はありません。

▼氏に誤りがあつた場合

原則、戸籍の筆頭者が届出を
してください。

※戸籍の筆頭者が、すでに除籍
されている場合は、その配偶
者が届出をしてください。

▼名に誤りがあつた場合

本人が届出をしてください。

未成年者の場合は、親権者が届
出をしてください。15歳以上の
場合は、本人が届出をすること
ができます。

▼届出方法

- ・市区町村の窓口で行う。
 - ・郵送で行う。
 - ・マイナポータルで行う。
- 詳しくは、法務省ホームペー
ジまたは村公式ホームページを
ご覧ください。

令和7年度住民税 非課税世帯へ米購入 助成券を交付します

保健福祉課社会福祉係
TEL 88-3019

▼対象世帯

令和7年6月1日現在、中川
村に住所を有し、世帯全員の令
和7年度分の住民税が非課税で
ある世帯

※令和7年6月1日以降に同一

住所に世帯分離をした場合
は、同一世帯とみなします。

▼交付枚数および金額

1世帯 1枚2,000円

▼交付方法

郵送（申請不要）

▼使用期限

10月1日（水）～12月25日（木）

▼使用方法

- ・村内の米販売店のみ使用でき
ます。
 - ・米以外の商品の購入には使用
できません。
 - ・助成券の転売、譲渡、換金は
できません。
 - ・おつりは出ません。
- ※対象となる世帯には、10月以
降順次発送予定です。



保育所新規入所説明会を 開催します

保健福祉課子育て支援係
TEL 88-3019

令和8年4月以降に保育所へ

新規入所を希望されるご家庭を
対象に入所説明会を開催しま
す。入所予定のあるご家庭はご
参加ください。

入所説明会

▼日時

令和7年10月16日（木）

午前10時～

▼会場

文化センター小ホール

▼内容

入所に関する説明と入所書類
の配布を行います。

入所申込み受付

▼会場および日時

みなかた保育園 遊戯室

令和7年11月17日（月）

午後1時30分～3時30分

・片桐保育園 遊戯室

令和7年11月19日（水）

午後1時30分～3時30分

説明会への参加申込みなど詳
しくは、村公式ホームページを
ご覧ください。

令和8年保育所
新規入所申込み
について
記事ID:10558



里親さんと出会える日を 開催します

こども家庭センター
TEL 88-3150

里親制度は、未来を担う大切
な子どもを助けることができま
す。わたしたちにもできる里親
の形を知る機会としてイベント
を開催します。

里親に興味がある方、なにが
できるか知りたい方は、実際に
活動されている里親さんのお話
を聞いてみませんか。

▼日時

9月27日（土）

午前10時～午後1時

※予約は不要です。

▼会場

ショッピングセンターチャオ

▼内容

・DVD上映

・NHK ETV特集

「うずまきファミリーと
子育て村」

・里親座談会

・里親トークCAFE

お問い合わせ先
上伊那フォスタリング機関
こごみのねっこ

TEL 070-3239-5530

「里親さんと
出会う日」
開催について
記事ID:12115



ハロウィンジャンボ

1等・前後賞合わせて5億円！

令和7年度
市町村振興宝くじ
同時発売

ハロウィンジャンボミニ

1等・前後賞合わせて5,000万円！

発売期間は令和7年9月19日（金）から10月19日（日）まで

この宝くじの収益金は、地域住民の福祉向上に使われます。長野県の販売実績により配分されますので、長野県内の宝くじ売り場でお買い求めください。村内では、中川郵便局で購入できます。



9月は「認知症月間」です

地域包括支援センター

TEL 88-6177

認知症の日・
認知症月間



2022年に行われた65歳以上の高齢者を対象とした調査では、約3・6人に1人が認知症もしくはその予備軍といえる状況です。しかし、認知症と診断されても、これまでどおりの生活をしている方も多くいます。

村では、認知症であっても個人としてできること・やりたいことに取り組み、年を重ねても地域のみなさんとつながりを持ち、希望をもって暮らし続けていくことを応援します。

認知症を自分ごととして理解し、自分らしい暮らしをずっと続けていくためにできることを一緒に考えてみませんか？

みなさんの声をぜひお聞かせください。

詳しくは、厚生労働省ホームページをご覧ください。

新型コロナウイルス 接種を実施します

保健センター

TEL 88-30002

令和7年度の新型コロナウイルスワクチン接種を高齢者インフルエンザ予防接種と同様、主に65歳以上の方を対象に定期接種として実施します。対象者の方には、10月上旬に予防票を発送します。

▼対象者

- ・65歳以上の方
- ・60～64歳で心臓、腎臓、呼吸器の機能障害で1級の身体障害者手帳の交付者またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害を有する方

※接種にあたって、予防接種法上の努力義務はありません。ワクチンの効果と副反応の正しい知識を持ったうえで接種をご検討ください。

▼期間

令和7年10月20日（月）から令和8年3月31日（火）まで

接種回数 期間中に1回

費用 7,600円

▼予約方法

医療機関での個別接種となります。希望される方は、事前に医療機関へ予約してください。

▼任意接種

対象外の方や定期接種期間以外で接種を希望される方は、全額自己負担で接種可能です。接種の可否および費用などは医療機関へお問い合わせください。

蜜蜂飼育届の 提出が必要です

産業振興課農政係

TEL 88-3042

みつばちを飼育するためには、養蜂振興法に基づき、みつばちの種類、飼育の規模および蜂蜜販売の有無に関わらず、毎年「蜜蜂飼育届」の提出が義務付けられています。

現在、飼育届を提出せずにみつばちを飼育されている方は、早急に飼育届の提出をお願いします。

▼電気柵等設置補助について

近年、クマに養蜂箱を荒らされる被害が発生しています。村では電気柵などの設置について、補助を行っています。安全に安定した蜂蜜を確保するため、電気柵などの設置もご検討ください。

詳しくは、村公式ホームページをご覧ください。

蜜蜂飼育届
について
記事ID:222



竹林整備用チップを 貸出しています

産業振興課耕地林務係

TEL 88-3042

竹林整備で伐採した竹をチップにして有効活用するため、チップを導入し、貸出しています。ぜひご利用ください。

▼貸出し対象者

- ・村内に住所を有し、もしくは村内に竹林を所有する個人、自治会またはボランティア団体などで、村内で竹林整備活動を行う者であり、村が開催する使用者安全講習を受講した者
- ・竹林所有者などとの請負契約により、村内の竹林整備を行う村内事業体、駒ヶ根伊南シールバー人材センター、上伊那森林組合

※個人の場合、複数人で作業ができる方に限ります。

▼貸出し機器

・竹林整備用チップパー 1台
大橋GS285D

(重量1,100kg)

※運搬用トラックは、使用者自らで用意してください。

・ブリッジ 1組

▼貸出し期間

原則7日以内

▼費用

無料（燃料は使用者負担）

▼申込み方法

申請書に記入のうえ、産業振興課耕地林務係へ提出してください。

令和7年度使用者安全講習会

6月に開催を予定していた講習会は、都合により開催を延期しました。

このたび、次の日程で開催します。

▼日時

令和7年10月2日（木）

午後1時30分～

※荒天の場合、翌日に順延

▼場所

村内

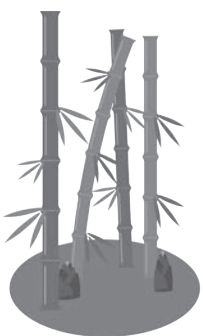
※申込みされた方に別途お知らせします。

▼参加方法

申込書に記入のうえ、9月30日（火）までに産業振興課耕地林務係へお申込みください。

詳しくは、村公式ホームページをご覧ください。

竹林整備用
チップパーを
貸出しています
記事ID:9231



飲食等食料品価格高騰対策 支援給付金を交付します

産業振興課商工観光係
TEL 96-10658

食料品、食料品原材料価格高騰の影響を受ける村内飲食店など事業者の事業継続を支援するため、給付金を交付します。

▼対象者

次のいずれにも該当する方
・食品衛生法第55条の規定に基づき、営業許可を得ている方で、調理業、販売業また製造・加工業を営む事業者
※酒類製造業、露店営業、移動営業者、臨時営業は除きます。

・村内に店舗、製造所または加工所が所在する事業者

▼給付金額

対象者1件あたり一律5万円

※季節営業、完全予約制など通年営業とみなせない場合は計算式により算出します。

▼提出期限

令和7年9月30日（火）

▼提出先

中川村農業観光交流センター
詳しくは村公式ホームページをご覧ください。

中川村飲食店等
食料品価格高騰
対策支援給付金
のご案内
記事ID:12031



中川村就職祝金該当者 調査を行います

産業振興課商工観光係
TEL 96-10658

村では、村内産業の発展と雇用の拡大および人材の育成を目的に村内事業所に就職した方へ就職祝金を交付しています。

▼要件

・村内事業所に勤務する常用雇用の従業員の方
※所得税法第229条の規定によつて事業を行っている個人または法人であつて、開業から2年以上経過し、事業主を除き、従業員を1人以上雇用している事業所。なお、従業員の住所地の要件はありません。

・令和7年4月1日現在で4歳以下の方
・就職後1年以上経過した方
該当する方が事業所にいる場合は、産業振興課商工観光係へご連絡ください。

粗大ごみ・小型家電・水銀 使用製品を収集します

建設環境課環境係
TEL 88-3051

ご家庭で不要となった粗大ごみ・小型家電・水銀使用製品（体温計・温度計・血圧計）がありましたら、この機会をご利用ください。

▼日時

令和7年10月25日（土）
午前8時30分～10時

▼場所

村民グラウンド駐車場

詳しくは、広報折込チラシをご覧ください。

上伊那医師会附属看護 学院の生徒を募集します

上伊那医師会附属看護学院
TEL 72-2856

昭和27年上伊那医師会が設立した准看護師養成所である上伊那医師会附属看護学院では、令和8年度（2026年度）入学の生徒を募集します。

▼募集人員 30名

▼修学年限 2か年

▼願書受付

10月1日（水）～31日（金）

▼試験日

令和7年11月8日（土）

▼受験料 10,000円

▼試験科目

国語・数学・選考後面接

▼資料請求方法

住所・氏名を明記し、110円切手を貼付した返信用封筒（長形3号）を同封のうえ、「募集要項希望」と明記して郵送にて請求いただくか、直接学院へお越しください。

マイナ救急実証事業が 始まります

上伊那広域消防本部警防課
TEL 72-10119

▼マイナ救急とは・・・

救急隊員が傷病者のマイナ保険証（健康保険証として利用登録したマイナンバーカード）を活用し、傷病者の医療情報などを閲覧する仕組みです。

これにより難しい薬の名前や病気の受診歴の情報が正しく救急隊員に伝わります。

詳しくは、総務省消防庁ホームページをご覧ください。

あなたの命を守る
「マイナ救急」



福祉の職場説明会を 実施します

ハローワーク伊那
TEL 73-8609

▼日時

令和7年10月23日（木）

午後1時30分～3時30分

▼会場

詳しくは、長野県福祉人材センターホームページをご覧ください。

長野県福祉人材
センターHP



飯田技術専門学校 令和8年度入校生募集

長野県飯田技術専門学校
TEL 0265-22-1067

長野県飯田技術専門学校では、令和8年度普通課程（4月入校）の訓練生を募集します。

▼募集学科・募集人員

・自動車整備科 20人
・木造建築科 20人

▼出願資格 高等学校卒業程度

※令和8年3月卒業見込み含む。

▼募集期間

令和7年10月20日（月）から
11月11日（火）まで

▼試験日

令和7年11月25日（火）

詳しくは、飯田技術専門学校ホームページをご覧ください。

令和8年度
入校生募集



こんにちは赤ちゃん

松村 想太くん

（敦史・かなえさん）（中組）

久保田 タネさん

（97歳）（下平）

下平 松男さん

（90歳）（渡場）

宮崎 嘉明さん

（88歳）（横前）

8/15(金) 片桐地区で夏祭りが行われました

ショッピングセンターチャオを会場に片桐夏祭りが開催されました。
会場では、「リアル間違い探し」や「金魚すくい」など、たくさんの出店が並び、多くの方で賑わいました。
駐車場では、消防団ラッパ班や陣馬太鼓の演奏、フラダンスなどが披露され、会場を盛り上げました。
夜には、花火も打ち上げられ、夏のひとときを楽しみました。



消防団ラッパ班



陣馬太鼓



伊那谷フラファミリー

8/26(火) みなかた保育園で避難訓練が行われました



園児たちは園舎から避難し、積載車が到着してから放水するまでを見学しました。

その後は、実際に積載車に乗ったり、中に入っている器具の説明を聞いたりなどを行いました。

消防団の活動などを知る良い機会となりました。



8/30(土) 地域をつなぐ^{のろし}狼煙リレー

戦国時代の武将、武田信玄が情報伝達に用いたとされる「のろし」を再現する「第18回武田信玄狼煙リレー」が行われ、南信州から塩尻まで約21か所をつなぎました。

村では、「陣馬形山のろし上げ実行委員会」のみなさんを中心に、陣馬形山山頂付近で行われました。オープニングでは、西小4年生の太鼓演奏や東小4年生の豊年踊りなどが行われ、「武田信玄」が登場する一幕もありました。
その後、火打ち石で起こした火で点火し、のろし台は勢いよく燃え、上空高くまで白い煙が立ち上がりしました。





バンビーニ

通信



8月24日(日)
パパもひろばに集まれ!

3組10人が参加。自己紹介のあと、みんなでアナログゲーム(くまさんメモリー、スティッキー、果樹園)をしました。子どもたちの予想外の反応が見られて盛り上がりました。

お知らせ (バンビーニの10月) の予定)

- ・出張子育て相談(こども家庭センターの職員が来ます)
6日(月) 10:00～11:30
- ・就業相談 予約制 *お子さん連れでも相談できます。
6日(月) 10:00～16:00
- ・歯科衛生士さんのお話 予約制
9日(木) 10:30～11:30
- ・奏の森に遊びに行こう! 予約制
17日(金) 10:20～現地集合
*雨天・荒天の場合は24日(金)に延期します。
- ・北山先生の子育てのお話し 予約制
21日(火) 10:30～11:30
- ・作業療法士さんに聞いてみよう 予約もできます
18日(土) 11:00～13:00
31日(金) 10:30～12:30

※急きょ変更する可能性があります。「バンビーニGoogleカレンダー」または「中川村公式LINE」でもご確認ください。

つどいの広場バンビーニ

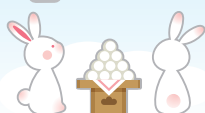
Tel・Fax 88-3201

【利用時間】 月・火・木・金曜日: 9:30～16:00
土・日曜日・祝日: 10:30～15:30
【閉所日】 毎週水曜日



みんなの なかがわ 保育園

vol.167



今月は 片桐保育園
「ゆり組」のみなです



ゆり組(年少) 男の子9人 女の子5人 計14人



消防車と一緒にハイポーズ



なかよしゆりさん。
みんなでワクワク楽しく遊んでいます!



にしがいと
西垣内 ゆう さん（南 原）
赤穂高等学校 2年（17歳）

— 高校生活はどうか？

入学した時は、不安でいっぱいでしたが、部活動や学校行事などで、楽しい友だちも増えて、充実した高校生活を送っています。

— 今頑張っていることはなんですか？

部活動です。赤穂高校のバドミントン部は男女一緒に体力作りや練習メニューが大変ですが、仲間と一緒に頑張っています。

— 中川村の好きなところは何ですか？

学校給食がすごく美味しいところです。高校生になって給食がなくなり、改めて給食のありがたさを感じています。

— 10年後どうなっていたいですか？

27歳の自分がどうなっているかワクワクしますが、看護師という夢を叶えて、しっかり人の役に立てていると良いです。

— 中川村の未来に一言お願いします！

中川村の象徴である「どんちゃん祭り」「チャオ」「美味しい給食」がずーっと残って欲しいです。

なかがわNEWS

役場庁舎議場を改修しました！



役場庁舎2階にある議場を、非常時における災害対策本部として、また、議会以外の会議にも利用ができるように、今年3月から行っていた改修工事が7月31日に竣工しました。

傍聴席を除く床面をフラット化し、大型モニターの設置、机やイス・マイクを自由に配置できるようにするなど、多目的に利用できる部屋となりました。

事業費は4,823万円（うち、緊急防災・減災事業債4,820万円）です。



中川村は
「日本で最も美しい村」連合
に加盟しています



LINEで情報を配信
村からのお知らせや緊急情
報等をLINEで受け取ること
ができます。



緊急情報等配信サービス
村・学校からのお知らせや
緊急情報等をメールで受け
取ることができます。

中川村の人口

【9月1日現在】
()内は対前月

人口 4,573人(+1)

男 2,196人(+3)

女 2,377人(-2)

世帯数 1,721世帯(+1)

くらしの情報 10月

税・料金の納期限

住 民 税	第3期	10月31日(金)
後期高齢者医療保険料	第4期	
国 保 税	第5期	
介 護 保 険 料		
保 育 料	10月分	
村 営 住 宅 料		
水 道 料		
下 水 道 料		

10月のごみ収集カレンダー

日	曜日	南向地区	片桐地区
1	水	資源プラ（紫）【全村】	
2	木	不燃物（青）	可燃ごみ（赤）
3	金	可燃ごみ（赤）	不燃物（青）
4	土		
5	日		
6	月	びん（コンテナ）	可燃ごみ（赤）
7	火	可燃ごみ（赤）	缶（コンテナ）
8	水	資源プラ（紫）とペットボトル【全村】	
9	木	蛍光管【全村】	
10	金	可燃ごみ（赤）	
11	土		
12	日		
13	月		可燃ごみ（赤）
14	火	可燃ごみ（赤）	びん（コンテナ）
15	水	資源プラ（紫）【全村】	
16	木	不燃物（青）	可燃ごみ（赤）
17	金	可燃ごみ（赤）	不燃物（青）
18	土		
19	日		
20	月	缶（コンテナ）	可燃ごみ（赤）
21	火	可燃ごみ（赤）	
22	水	資源プラ（紫）とペットボトル【全村】	
23	木		可燃ごみ（赤）
24	金	可燃ごみ（赤）	
25	土	粗大ごみ・小型家電収集【全村】 午前8時30分～10時まで 詳しくはホームページをご覧ください。	
		資源回収	
26	日		
27	月	びん（コンテナ）	可燃ごみ（赤）
28	火	可燃ごみ（赤）	びん（コンテナ）
29	水	資源プラ（紫）【全村】	
30	木	不燃物（青）	可燃ごみ（赤）
31	金	可燃ごみ（赤）	不燃物（青）

※台所などに掲示してお使いください。

相談あれこれ

- 行政相談 総務課 TEL88-3016
〔日時〕10月29日(水) 午前9時～11時
〔場所〕中川文化センター小会議室
- 子育て相談 こども家庭センター TEL88-3150
〔日時〕平日 午前8時30分～午後5時15分
〔場所〕こども家庭センター
- 結婚相談(要予約)
中川村結婚相談所 TEL080-7073-1438
〔日時〕平日 午前9時～午後5時
10月14日(火)・28日(火) 午後6時～8時
〔場所〕基幹集落センター
- 介護相談 地域包括支援センター TEL88-6177
〔日時〕平日 午前8時30分～午後5時
〔場所〕地域包括支援センター
- ケアラズカフェ(要予約)
地域包括支援センター TEL88-6177
〔場所〕Cafe Oak(カフェオーク)
- 心の相談(要予約) 保健センター TEL88-3002
〔日時〕10月9日(木) 午前8時30分～午後5時
〔場所〕保健センター
- 教育相談 教育委員会 TEL88-1005
毎週水曜日〔場所〕文化センター
- 健康相談 保健センター TEL88-3002
〔日時〕平日 午前8時30分～午後5時
〔場所〕保健センター

10月の保健衛生ごよみ

- 4・10か月児健診
〔日時〕10月23日(木) 午後1時～
会場は葛島区民会館です。
保健センター TEL88-3002

10月マイナンバーカード時間外申請受付・交付日

26日(日) 午前10時～正午 住民係 TEL 88-3018
役場で写真を撮って、カードの申請やカードの受け取りができます。ぜひご利用ください。

10月の当番医

5日(日)	南 向 診 療 所	中川村	TEL88-2019
12日(日)	生協診療所いいじま	飯島町	TEL86-5778
13日(月)	まつむら小児科医院	駒ヶ根市	TEL81-4700
19日(日)	東伊那すこやかクリニック	駒ヶ根市	TEL83-4024
26日(日)	木 下 医 院	駒ヶ根市	TEL82-3712

チャンネルながわ(11ch)10月の番組予定

1日～	8日～	15日～	22日～	29日～	中川村のできごと
-----	-----	------	------	------	----------

デジタル活用支援として、スマートフォンの基本的な使い方を放送しています。
☆放送時間(1日6回)
6時30分～ 8時30分～ 12時30分～ 19時～ 21時～ 23時～
※番組の切り替えは水曜日の19時です。
※都合により番組が変更になることがあります。